

平成 26 年 4 月 1 日から平成 28 年 5 月 31 日までに当院当科にて CRT(運転適性検査器)/ホンダセーフティーナビ(ドライブシミュレーター)と神経心理学的検査(CAT/BADS/WAIS/TMT/ROCFT)を受けられた患者さんへ。

○課題名：神経心理学的検査と運転能力評価ソフトを用いた高次脳機能障害者の自動車運転能力の評価

○研究の概要：

高次脳機能障害者を有する患者さんにとって運転は非常に危険です。県警運転免許センターなどには注意機能を含む個人の運転特性を数値化し把握出来る CRT 運転適正検査器が設置されていますが、医療現場では CRT やドライブシミュレーターなどの実地検査はあまり行われておらず、運転の可否は個々の医師の裁量によるところが大きいのが現状です。そこで CRT(運転適性検査器)/ホンダセーフティーナビ(ドライブシミュレーター)と神経心理学的検査(CAT/BADS/WAIS/TMT/ROCFT)を用い、個々に得られた下位項目の相関を調べることで、特別な機器を有さない一般的な医療環境下においても適切な運転の可否の判断につなげる目的で研究を行います。そのために過去のカルテからデータを調査します。

○対象となる患者さん

平成 26 年 4 月 1 日から平成 28 年 5 月 31 日までに当院当科にて CRT(運転適性検査器)/ホンダセーフティーナビ(ドライブシミュレーター)と神経心理学的検査(CAT/BADS/WAIS/TMT/ROCFT)を受けられた患者さん

○実施場所：川崎医科大学リハビリテーション医学教室 / 附属病院リハビリテーションセンター

○個人情報の保護について：

調査したデータは本研究の目的以外に使用することはありません。また、調査の結果を学会や論文で発表する際には、個々の患者さんの氏名・生年月日等の個人情報がおの人に知らされることは一切ありません。個人情報データはインターネットに接続していない医局内のコンピュータに保管し、データ解析は個人情報を削除して行います。データの取り扱いに対して拒否は可能です。対象となる患者さんでデータ使用を拒否される方は、お手数ですが下記問い合わせ先までご連絡下さい。

○当研究は、結果に影響を及ぼすような資金の受け入れはないため深刻な利益相反関係(研究費を出す企業などの利益になるようデータを改ざんする行為に至る可能性のある関係、すなわち研究において誤解を受けるような不透明な関係)になっていないことについても確認済みです。

○研究期間：倫理審査承認日～平成 29 年 3 月 31 日まで

○お問い合わせ先：rehabili@med.kawasaki-m.ac.jp

○主任研究者：川崎医科大学リハビリテーション医学教室 准教授 平岡 崇

Tel: 086-462-1111(内線 25506)